

B型肝炎・C型肝炎



正しく理解し、検査を受けましょう

北海道保健福祉部

ウイルス性肝炎とは？

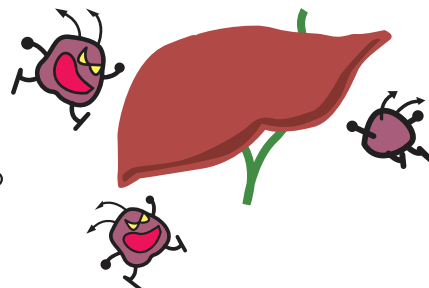
ウイルス性肝炎は、A、B、C、D、E型などの**肝炎ウイルスの感染**によって起こる肝臓の病気です。中でもB型、C型肝炎ウイルスについては、感染すると慢性の肝臓病（慢性肝炎、肝硬変、肝臓がん）を引き起こす原因ともなります。

肝炎ウイルスは一過性に感染する場合と、持続的に感染している場合があります。持続的に感染している状態を「**肝炎ウイルスキャリア**」と言います。さらに、肝炎になると、肝臓の細胞が壊れて、肝臓の働きが悪くなります。一部の方では、倦怠感、食欲不振、吐き気、黄疸（皮膚が黄色くなること）などの症状が出るがありますが、慢性肝炎の状態では、多くの場合は「**自覚症状はない。**」とされています。

B型、C型肝炎ウイルスにはどのように感染する？

主に血液を介して感染します。

- 具体的には → ●注射器の使いまわし ●入れ墨（タトゥー）を彫る
●十分に消毒されていない器具を使ってピアスの穴をあける
●性交渉 ●母子感染（現在は少ない）や家族内感染



感染拡大の予防のために

以下の常識的な注意事項を守っていれば、日常生活で感染することは、まずあり得ません。（くしゃみ、せき、抱擁、食べ物、飲み物、食器やコップの共用などでは感染しません。）

<主な注意事項>

- 歯ブラシ、カミソリ、ピアスなど血液がつく可能性のあるものを他人と共用しない。
- 血液や分泌物の付着したものは、むき出しにならないようにしっかり包んで捨てるか、流水でよく洗い流す。
- 外傷、皮膚炎、鼻血、月経血などはできるだけ自分で手当てする。

肝炎ウイルス検査とは？

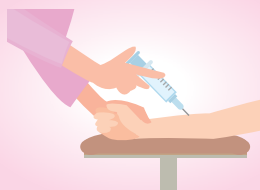
道立保健所では、「B型肝炎ウイルス検査（HBs抗原検査）」及び「C型肝炎ウイルス検査（HCV抗体検査）」を実施しています。少量の採血により同時に2つの検査が可能です。

検査結果は1時間程度でお知らせすることができますが、「C型肝炎ウイルス検査」においては、陽性が疑わしい場合などには二次検査を行いますので、結果のお知らせには、更に2週間程度の日数が必要です。

検査日には、医師等から肝炎に関するカウンセリングを受けることができます。

●次に該当される方については、無料で検査を受けることができます。

- 輸血や臓器移植を受けたことがある方
- フィブリノゲン製剤（フィブリノゲン糊としての使用を含む）、輸入非加熱血液凝固因子製剤を投与された方
- 薬物を濫用していた方
- 入れ墨、ボディピアスをしたことがある方
- 肝炎ウイルス感染者と性的接触のあった方
- 定期の予防接種を集団接種された方
- その他感染の可能性が疑われる方



❗ 検査には予約が必要です。

（一）注意
検査日等については、最寄りの道立保健所にお問い合わせ下さい。

札幌市、旭川市、函館市、小樽市にお住まいの方は、それぞれの市保健所又は保健センターにお問い合わせ下さい。